

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期湖西市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

静岡県湖西市

3 地域再生計画の区域

静岡県湖西市の全域

4 地域再生計画の目標

これまでの湖西市の人口・世帯数は全国的な推移と同様、高度経済成長に合わせ、右肩上がりに増加してきたが、2005年の60,994人をピークに減少局面に転じ、2015年には59,789人となっている。住民基本台帳によると2021年8月には58,706人となっている。このままの減少傾向が続いた場合として、国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年の総人口は、53,497人となり、1975年から1980年頃の規模と同程度となる見込みである。

年齢3区分別人口をみると、2015年から2020年にかけて年少人口は8,082人から7,211人へ減少している一方で、老年人口は15,173人から16,384人へ増加しており少子高齢化が進んでいることが分かる。また、同期間中、生産年齢人口は36,534人から35,965人へ減少している。

社会動態については、進学や就職・転職、結婚やマイホーム取得などライフステージが関係する。2017年度までは、大幅に転出が超過していたが、2018年度は転出超過の傾向が緩和し、2019年度は転入が転出を上回り、239人の社会増となった。しかし、2020年には転入が減少し、367人の社会減となっている。

一方で自然動態については、人口構造により大きく変動し、年々減少傾向が強まっており、2020年には出生数356人に対し、死亡数588人の232人の自然減となった。過去10年間の死亡数に大きな変動はないが、今後、人口比率が高い年代が高齢化していくことに伴い、徐々に増加していくと予測されている。出生数は急速に減

少しており、2013年度には年間500人を、2017年度には年間400人を割った。原因としては大きく2つ、20歳から39歳までの人口の数が減っている（2010年15,340人→2019年11,767人）こと、配偶者がいる割合が徐々に減っていることが考えられる。

このような人口構造の変化は、自動車関連産業を中心とした工業はもちろん、農業・漁業といった多種の産業が盛んな湖西市の市政に、地域経済や消費活動の縮小、医療・福祉分野の人材不足、社会保障費の増大等の様々な影響を及ぼすことが懸念される。そこで、目指すべき将来の方向として、社会増減をプラスにしていくことが、まず必要となる。安全・安心なまち、産業が充実したまちづくりにより、特にファミリー層の転入、定住を促すことが人口減少に歯止めをかけることにつながる。

そして、出生数を増やすことも重要であり、結婚や出産の希望をかなえる環境をつくることが責務である。

湖西の将来の理想の姿を明確にし、着実に実現していくため、次の事項を本計画期間における戦略に掲げる。

- ・戦略1 安心して暮らすことができるまちをつくる
- ・戦略2 結婚、出産、子育ての希望がかなえられ、誰もが活躍できるまちをつくる
- ・戦略3 稼ぐ力に満ち、安心して働けるまちをつくる
- ・戦略4 新たなつながりを築き、新しいひとの流れのあるまちをつくる
- ・横断的戦略 持続可能な発展のために

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	安心して暮らせるまち とを感じる市民の割合	84.3%	88.0%	戦略1
イ	0～14歳の人口	7,211人	6,600人	戦略2
ウ	市民の所得	934億円	934億円	戦略3

ウ	製造品出荷額	1兆7,328億円	1兆7,500億円	戦略3
エ	人口社会増減 (5年間累計)	-615人	±0人	戦略4
オ	行政手続きに係る オンライン利用件数	1,358件	24,850件	横断戦略
オ	財政調整基金残高	32.1億円	25億円以上	横断戦略

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期湖西市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業

ア 安心して暮らすことができるまちをつくる事業

イ 結婚、出産、子育ての希望がかなえられ、誰もが活躍できるまちをつくる事業

ウ 稼ぐ力に満ち、安心して働けるまちをつくる事業

エ 新たなつながりを築き、新しいひとの流れがあるまちをつくる事業

オ 持続可能なまちをつくる事業

② 事業の内容

ア 安心して暮らすことができるまちをつくる事業

i 大規模災害や交通事故・犯罪への対策を強化するとともに、消防・救急や医療体制等の充実を図り、有事への備えを整える事業。

ii 超高齢社会に対応するため、交通弱者に配慮した地域の公共交通や移動サービスの充実を図る事業。

iii 安心して必要な医療が受けられるなど生涯を通じて健康に暮らせる環境を整え、超高齢化社会に的確に対応する事業。

【具体的な事業】

- ・ デマンド型交通の充実
- ・ BaaS の推進 等

イ 結婚・出産・子育ての希望がかなえられ、誰もが活躍できるまちをつくる事業

i 誰もが結婚・出産・子育ての幸福感を享受できるよう不安や問題を排除し、それぞれのライフステージに応じて、必要な支援や情報提供を行う事業。

ii 就学前から中学校まで切れ目のない学ぶ環境を整え、こどもたちの自立する心、創造する力を育み、健やかな成長を後押しする事業。

iii 性別、年齢、国籍などに関係なく、生涯にわたっていきいきと生活できるよう、働き方の見直し支援や多様な人材の活躍を促進し、誰もが活躍できる環境を整える事業。

【具体的な事業】

- ・ 保育の拡充 等

ウ 稼ぐ力に満ち、安心して働けるまちをつくる事業

i 職住近接や賑わい創出につながる取組を積極的に推進するとともに、産業の事業承継や新たな企業立地を支援し、経済の発展と市民生活の向上を図る事業。

ii 若者だけでなく、女性や高齢者に対し就労支援を行い、働く意欲に応える事業。

iii 新型コロナウイルス感染症の感染拡大やインフラ整備などによる社会情勢の変化、これらによる産業への影響を的確に捉え、誰もが安心して働き続けられるよう、迅速かつ臨機応変に対応するとともに、将来を見据えた取組を進める事業。

【具体的な事業】

- ・ モノづくり産業ネットワークの構築
- ・ モノづくり人材育成
- ・ 企業立地の促進 等

エ 新たなつながりを築き、新しいひとの流れがあるまちをつくる事業

i 新型コロナウイルス感染拡大などに伴う新たな働き方や生活様式の変化を好機と捉え、湖西への新たな移住者の定着を図るとともに、首都圏など市外への若者の流出を防ぐ事業。

ii 湖西への関心や関わりを築いてもらうため、魅力ある地域資源を最大限に活用し、積極的に市内外に向け情報発信をする事業。

【具体的な事業】

- ・土地の有効活用促進
- ・畜産臭気対策
- ・マイホーム取得者へのアプローチ 等

オ 持続可能なまちをつくる事業

i 人口減少社会のなか、湖西市が持続可能な発展を遂げるため、長期的な視点で効率的かつ効果的な行政経営に資する事業。

ii 行政サービスのデジタル化を積極的に推進し、デジタル・スマートシティの実現を目指す事業。

【具体的な事業】

- ・オンライン化による市民向けサービスの向上 等

※ なお、詳細は第2期湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

480,000千円（2021年度～2024年度累計累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7、8、9月に外部有識者による効果検証、進捗管理等を行う。検証後速やかに湖西市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで